

クライアントのより良い作業を 引き出す接し方のコツ

主催：臨床実践に役立つ理論研究会

開催日：2018年11月11日（日）

10：00～16：00 （途中，昼休憩あり）

日々の臨床では、クライアントと話をしないことはないでしょう。話をすることは作業療法で作業を用いるためには、不可欠だと言われています。クライアントの変化を引き出すのは、身体的なアプローチだけではありません。話をする、会話するということは、情報収集だけではなく、自分自身の言動を治療的に意図して取り入れることで、治療としても活用することができます。作業を用いることだけでなく、話をすることも、他職種にはない作業療法士としてユニークな点であり、領域関係なく求められているスキルなのではないでしょうか。

作業療法の実践理論である人間作業モデル（MOHO）では、クライアントの作業への取り組みを支援するための作業療法士の言動や振る舞いが示されています。今回は、これらの言動、振る舞いの紹介、解説に加えてクライアントが作業に取り組む側面と変化についても説明致します。

場所：横浜市健康福祉総合センター 9F 会議室 横浜市中区桜木町 1-1

<http://www.yokohamashakyo.jp/sisyakyo/map.html>

※会場へは内容に関する問い合わせしないようお願い致します

対象：作業療法士，作業療法学生（領域は問いません）

講師：笹田哲（神奈川県立保健福祉大学大学院 教授）

参加費：作業療法士 5000 円

作業療法学生 2000 円

生涯教育ポイント：1 ポイント

申し込み期間：2018年11月7日（水）まで

今回は会場の都合で定員（25名）をもうけさせて頂きました。期間中でも定員に達した場合は申し込み終了とさせて頂きますので、ご了承ください。

申し込み方法：uottip456@gmail.com まで以下の内容を添えてメールでお申し込み下さい

お申込み後、72時間以内に受付完了のメールがない場合はお手数ですが、お問い合わせください。

「gmail.com」からのメールを受信できるように設定してください。

（メール記載内容）

件名：2018年11月11日参加申し込み

①氏名

②所属

③連絡先メールアドレス